

現代ロシアの呪いに関する計量分析： 誰が誰をどうやって呪うのか？

【発表者】 藤原 潤子（神戸市外国語大学 准教授） 【日時】 2月17日（金）
18:30開演（18:00開場）
【コメンテーター】 藤本 透子（国立民族学博物館 助教） 【場所】 総合研究二号館4階 AA447



1991年のソ連崩壊後、ロシアでは宗教やオカルトへの興味が急激に高まった。この流れの中で呪術信仰もリバイバルしており、現在、呪術をめぐる様々な体験談が各種メディアを通じて拡散している。本発表では、本の出版によって有名になったひとりの呪術師に寄せられるなやみ相談の中から、呪いをめぐる約400件の語りを資料として取り上げ、計量分析を試みる。呪いについて語るのは誰なのか、誰が誰を呪うのか、呪いの儀礼はどこでどのように行われるのか、呪いの結果何が起こるのか、呪われた人はどのようにそれを知るのか——というような問いに対する分析結果の紹介を通して、現代ロシアにおける呪いの文化を概観したい。

【備考】

- * 京都人類学研究会は京都を中心とする関西の人類学および関連分野に関心をもつ研究者・大学院生がその研究成果を報告する場です。
- * 事前の参加予約は必要ありません。どなたでも自由に参加いただけます。
- * 当日は資料代として200円いただきます。
- * 講演会後に懇親会を予定しております。

【お問い合わせ】

kyojinken2016@gmail.com（京都人類学研究会事務局）

京都人類学研究会 2016年度代表：平野（野元）美佐 代表補佐：田中雅一

▽会場へのアクセス(京都大学古田キャンパス本部構内)

